

五大力

長唄

全詞章

作詞者・作曲者不詳

いつまで草ぐさのいつまでも、なまなか見みえて物思ものおもふ
仮令たとひ堰せかれて程経ほどへるとても、縁えんと時節じせつの末すゑを待まつ
何なんとしよ、互たがひの心こころうち解とけて、表面うはべはとかぬ五大力ごだいき
さは去さりながら、変かはる色いろなき御風情ごふぜい、聴やがて逢あふぞへ語かたろぞへ、惜をしき筆ふでとめ候さうらふかしく